

令和5年度不動小学校授業改善プラン

第4学年

	課 題	解決のための手だて
国 語	【領域：書くこと】 ○書く内容の中心を明確にして文章構成を考えて書くこと。 ○共通点や相違点に着目して考えをまとめること。 ○情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付け、常体・敬体を使い分けて書くこと。 【領域：我が国の言語文化に関する事項】 ○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。	・考えた内容を頭の中で言語化し、友達と話し合ってから文章に起こす活動を取り入れる。初めから長い文章を書かせるのではなく、「下書き」「校正」「清書」の手順を踏ませ、段階的に書かせる。 ・文章を書く際は、「伝える相手」「伝えたいこと」を明確にし、どんな文章を書けばよいか例示する。 ・伝えたいことを明確にするために、自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもった上で友達の考えとの共通点や相違点に着目させる。 ・日常的に言葉遣いについて継続して声をかけ、使い分けできるようにする。 ・漢字ノートを書く際には辞典で調べ、自分で使える言葉にする。 ・日記を書くことを推奨し、文章中の主語と述語の関係を意識させる。
	【領域：図形】 ○図形の定義と性質から図形を選別したり、作図したりすること。 【領域：測定】 ○身近にある物のかさを推察して、適切な単位を使うこと。	・紙やひごを使って図形を作ったり、構成したりする体験的な活動を多く取り入れ、主体的に図形の定義や性質が理解できるようにする。 ・新しい単位や数の導入では、その大きさや数の構成を視覚的に理解できるようにする。また面積の意味を理解する際には実際の大きさを描いたり、敷き詰めたりする活動を通して量感を養う。

理科	【領域：生命と地球】 ○複数の種類の昆虫に注目して差異点や共通点から成長の過程や体のつくりを捉えること。 【領域：物質・エネルギー】 ○乾電池と豆電球のつなぎ方から電気を通すつなぎ方や電気を通すものと通さないものがあることを理解すること。	・「林試の森公園」を活用して学習を進め、実際の昆虫や植物に触れる機会を増やす。 ・観察や実験から「比べる」「共通点」「違う点」という観点を意識させるよう学習を進める。 ・実験のねらいを明確にし、「直列つなぎ」と「並列つなぎ」を学習する際、一人ひとりで実験を進めることができる場を設定し、簡単に扱うことのできる道具を選定する。
社会	【領域：地理的環境と人々の生活】 ○方位と位置関係を関連させて地図を読むこと。 ○観察・調査したり、地図などの資料で調べたりすること。 【領域：歴史と人々の生活、現代社会の仕組みや働きと人々の生活】 ○表やグラフ、資料などを読み取り、活用すること。 ○問題解決学習の流れを理解し、主体的に学ぶこと。 ○調べて、資料をもとにまとめること。	・資料を読み取らせる際に、見る範囲を限定したり情報を精選したりして、視点を明確にする。 ・資料（地図・表・グラフなど）から分かることを言葉で表現できるようにさせる。さらに、そこで学んだことを生かし、自分たちにできることを考えさせる。 ・社会科に興味をもたせるために、学習する内容が児童の生活と関連していることを、資料を通して分かりやすく提示する。 ・学習をまとめる際には、資料から「気付くこと」「分かること」「考えたこと」を明確にする。 ・新聞、パンフレットにまとめる際、学習用情報端末の扱いを明確にする。